

掲 示 板

- I. 単位修得試験（2月試験）の実施について
- II. 教育実習講義（事後指導）の実施について
- III. 「教職実践演習（高）」の開講について
- IV. 教職関係証明書の発行時期について
- V. 平成26年度 単位修得試験日程について
- VI. 平成26年度 スクーリング単位修得再試験について
- VII. 平成26年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について
- VIII. 学費の分納（後期生）について
- IX. 事務休日等について
- X. オフィスアワーの変更について
- XI. 卒業生だより
- XII. 行事予定（12月・1月）
- XIII. 各種届出書類等
 - ① 変更届（1枚）
 - ② 証明願（1枚）
 - ③ 証明書発行申込書（1枚）
 - ④ 学校学生生徒旅客運賃割引証申込書・発行控（2枚）
 - ⑤ リポート用紙購入申込書（2枚）
 - ⑥ 質問用紙（1枚）
 - ⑦ 追加履修届（1枚）
 - ⑧ 「履修カルテ」配付申込書（1枚）

注意事項

1. 事務取扱時間
 - 月～土曜日 9：00～17：00
 - 日曜日 休み（ただし、単位修得試験やスクーリング等の行事のある場合は、その行事の開催時間に応じて事務の取扱いを行います。）
2. 電子メールの宛先
 - csoffice@ogu.ac.jp
 - 電子メール（書面も含む）での問い合わせには、必ず学籍番号と氏名を明記してください。
3. ホームページによるシラバスの閲覧について
 - 各授業科目のシラバスはホームページよりご確認ください。
 - なお、ホームページを閲覧できる環境のない方は、通信教育部事務室にお問い合わせください。
 - ホームページアドレス
<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>

掲 示 板

I. 単位修得試験（2月試験）の実施について

単位修得試験を次の要領で実施します。受験希望者は、所定の手続きを行って受験してください。

1. 試験日時

平成27年2月1日(日)10:00～16:00(本学・学外試験場)

2. 場 所

(1) 本 学

(2) 学外試験場

札幌、福島、東京、富山、浜松、名古屋、和歌山、姫路、鳥取、岡山、広島、高松、松山、高知、福岡、長崎、熊本、鹿児島 以上18試験場
学外の試験場は、「受験票」返送の際に受験者個々に連絡します。

3. 時 間 割

講時	時間	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名	
1	10:00 ∪ 11:40	0100	哲学概論	1202	経営管理論Ⅱ	1658	・民法Ⅱ	
		0107	倫理学概論	1437	基本経済学Ⅱ	8002	医療経営情報論	
		0126	地域地理学	1013	国際マーケティング論	5029	教育原理Ⅰ	
		0203	現代憲法A	1061	国際会計論	5030	教育原理Ⅱ	
		0204	現代憲法B	1407	金融経済論	5013	同和教育論	
		0319	心理学概論	1439	財政学	5060	教師論	
		1056	原価計算論Ⅱ	1625	税法			
2	12:20 ∪ 14:00	0200	経済学概論	1005	流通政策Ⅱ	1667	・商法Ⅰ	
		0202	法学概論	1058	会計監査論Ⅱ	8001	医学一般	
		0314	地球の科学	1059	税務会計論Ⅱ	5001	教育心理学	
		0317	統計学概論	1009	商業数学	5010	特別活動	
		0409	生涯スポーツ論	1203	経営統計学	5061	商業科教育法Ⅰ	
		1000	・商業学Ⅱ	1206	経営財務論	5062	商業科教育法Ⅱ	
		1004	国際貿易論Ⅱ	1657	民法Ⅰ			
3	14:20 ∪ 16:00	0109	歴史	1055	・財務諸表論Ⅱ	8003	病院経営会計	
		0115	文学概論	1060	・経営分析Ⅱ	8004	福祉経営情報論	
		0215	現代文化論	1200	経営学Ⅱ	8005	医療福祉経営論	
		0216	政治学概論	1010	外国為替論	5002	教育方法学	
		0304	生命の科学	1205	生産管理論	5011	生徒指導の研究	
		0325	現代物理学	1210	経営組織論	5015	職業指導	
		0408	健康と運動	1212	経営学史	5071	進路指導概論	
		1003	マーケティング論Ⅱ	1668	・商法Ⅱ			

- (注) 1. 各講時(100分)において2科目まで受験できます。
 2. 1科目の試験時間は50分間です。
 3. 各講時内で1科目のみ受験する場合も、必ず開始時間までに試験場へ入場してください。
 4. ・印の科目は教科書が変更されました。平成25年度以前に登録した者で、旧問題での受験希望者は受験申込時にその旨明記する必要があります。

掲 示 板

4. 試験問題

大阪学院大学通信教育部 HP (<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>)より、『開講科目一覧』をクリックし、更に『シラバス』をクリックして、受験する科目の「講義要項 (Syllabus)」を選べば、問題が確認できます。

5. 試験範囲

次頁の「単位修得試験問題範囲番号表(2月試験)」を参照してください。

6. 受験資格

次の1～3を満たしていることが条件となります。

- (1) 学費を納付していること。
- (2) 受験する科目を履修登録していること。
- (3) 2単位科目は、レポートが合格していること。また、4単位科目は第1回・第2回のレポートが合格していること。

7. 手続書類

- (1) 単位修得試験受験申込書 (本誌巻末に添付)
- (2) 返信用封筒 (宛名明記・82円切手貼付)

8. レポート提出締切日

平成27年1月6日(火)必着

9. 受験申込受付期間

平成27年1月15日(木)～1月19日(月) [必着]

掲 示 板

単位修得試験問題範囲番号表 (2月試験)

試験日：平成27年2月1日(日)

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
哲学概論	1 2 10	商業学Ⅱ	4 6 8	商業数学	4 8 12 16 20
倫理学概論	3 7 10	㊦商業学Ⅱ	1 2 10	外国為替論	15 16 17 18 19
歴史	1 5 7	マーケティング論Ⅱ	6 8 10	国際マーケティング論	10 11 12 19 20
文学概論	4 6 9	国際貿易論Ⅱ	8 9 10	国際会計論	1 2 7 13 18
地域地理学	5 7 9	流通政策Ⅱ	8 9 10	経営統計学	1 8 12 16 20
経済学概論	1 5 10	財務諸表論Ⅱ	2 6 10	生産管理論	1 4 5 11 20
法学概論	7 9 10	㊦財務諸表論Ⅱ	4 6 9	経営財務論	16 17 18 19 20
現代憲法A	4 5 8	原価計算論Ⅱ	4 5 10	経営組織論	1 2 4 5 13
現代憲法B	1 6 10	会計監査論Ⅱ	4 6 10	経営学史	4 8 12 16 20
現代文化論	8 9 10	税務会計論Ⅱ	1 5 10	金融経済論	16 17 18 19 20
政治学概論	1 2 10	経営分析Ⅱ	4 5 9	財政学	7 8 9 11 12
生命の科学	2 4 9	㊦経営分析Ⅱ	4 5 8	税法	16 17 18 19 20
地球の科学	2 5 8	経営学Ⅱ	1 2 10	民法Ⅰ	9 10 12 15 20
統計学概論	3 8 10	経営管理論Ⅱ	4 6 9	民法Ⅱ	4 8 17 19 20
心理学概論	2 8 10	基本経済学Ⅱ	8 9 10	㊦民法Ⅱ	4 8 17 19 20
現代物理学	2 9 10	医学一般	1 2 10	商法Ⅰ	16 17 18 19 20
健康と運動	5 8 10	医療経営情報論	4 8 12	㊦商法Ⅰ	16 17 18 19 20
生涯スポーツ論	1 4 6	病院経営会計	3 6 8	商法Ⅱ	16 17 18 19 20
		福祉経営情報論	2 4 8	㊦商法Ⅱ	16 17 18 19 20
				医療福祉経営論	4 8 12 16 20

教職課程科目〔新課程〕

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教師論	1 2 10	商業科教育法Ⅱ	1 5 10	職業指導	11 12 13 14 15
教育原理Ⅰ	8 9 10	特別活動	1 8 10		
教育心理学	1 2 10	教育方法学	8 9 10		
教育原理Ⅱ	8 9 10	生徒指導の研究	3 7 9		
商業科教育法Ⅰ	1 5 10	進路指導概論	4 5 6		
		同和教育	1 9 10		

注. 試験問題は、通信教育部ホームページよりシラバスを参照してください。授業科目の前に「㊦」のある場合は「シラバス2013」で確認してください。

各科目範囲番号より1題が出題されます。

※通信教育部ホームページを閲覧できる環境にない方につきましては、通信教育部事務室までお問い合わせください。

掲 示 板

Ⅱ. 教育実習講義（事後指導）の実施について

教育実習終了後、教育実習の事例発表と反省に関して指導を行うことを目的として実施します。単位修得の要件ですので、本年度、後期に教育実習を行った人は、必ず受講してください。

1. 開 講 日 時

開 講 日	講 時	時 間 帯
2月7日(土)	②	10:40～12:10
	③	12:50～14:20
	④	14:30～16:00
2月8日(日)	①	9:00～10:30
	②	10:40～12:10
	③	12:50～14:20

2. 実 施 場 所

本学（教室については当日、通信教育部事務室内に掲示）

3. 受 講 資 格

「教育実習日誌」の提出が必要です。受講申込までに提出してください。

4. 手 続 書 類

便箋等に「教育実習講義（事後指導）受講希望」の旨を記入し、返信用封筒（宛名明記、82円切手貼付）を同封して通信教育部事務室まで受講申込書等の関係書類を請求するか、あるいは通信教育部公式ホームページよりダウンロードしてください。

5. 受 講 申 込 締 切 日

平成27年1月30日(金)：「受講申込書」はこれ以前に請求してください。

掲 示 板

Ⅲ. 「教職実践演習（高）」の開講について

「教職実践演習（高）」を次のとおり開講します。受講予定の方は所定の手続を行ってください。

1. 開講期間

平成27年2月11日(水)～平成27年2月16日(月)【最終日は予備日】

2. 講義時間と担当者

開講日	曜日	講 時		担当者
平成27年2月11日	水	1	9:00～10:30	井上 専
		2	10:40～12:10	井上 専
		3	12:50～14:20	安田 一之
平成27年2月12日	木	1	9:00～10:30	安田 一之
		2	10:40～12:10	安田 一之
		3	12:50～14:20	安田 一之
平成27年2月13日	金	1	9:00～10:30	谷口 高士
		2	10:40～12:10	谷口 高士
		3	12:50～14:20	三輪 信哉
平成27年2月14日	土	1	9:00～10:30	三輪 信哉
		2	10:40～12:10	根無 喜一
		3	12:50～14:20	根無 喜一
平成27年2月15日	日	1	9:00～10:30	井上 専
		2	10:40～12:10	安田 一之
		3	12:50～14:20	安田 一之

3. 受講申込手続

便箋等に「教職実践演習（高）」の受講希望の旨を記入し、返信用封筒（宛名明記・82円切手貼付）を同封して通信教育部まで「受講申込書」を請求してください。

「受講申込書」到着後、必要事項を記入し、「履修カルテ（完成済）」を

掲 示 板

同封の上、通信教育部まで返送し受講申込手を完了してください。

なお、「教職実践演習（高）受講申込書」は、ホームページからもダウンロードできます。

また、「履修カルテ（完成済）」が同封されていない受講申込は、受理できませんので注意してください。

4. 受講申込締切日

平成27年 1月30日(金) 必着

掲 示 板

Ⅳ. 教職関係証明書の発行時期について

平成26年10月から平成27年3月までに単位修得した授業科目の成績認定は、平成27年3月20日付となります。

よって、平成27年2月1日の本年度最終単位修得試験における合格科目もこの日付けで単位認定を行うこととなります。

学力に関する証明書（成績証明書を含む）が必要な方は平成27年2月20日以降に発行申込手続きを行ってください。平成27年3月20日前後に申込が集中しますと発行が遅れる可能性がありますので事前にご連絡します。

Ⅴ. 平成26年度 単位修得試験日程について

平成26年度の単位修得試験日程は下表のとおりです。

試 験 日	レポート提出締切日	受験申込受付期間
H27.2.1(日)	H27.1.6(火)	H27.1.15(木)～H27.1.19(月)

Ⅵ. 平成26年度 スクーリング単位修得再試験について

平成26年度のスクーリング単位修得再試験の日程は下表のとおりです。

試 験 日	受験申込期間	備 考
H27.1.25(日)	H27.1.6(火)～H27.1.8(木)	秋期・冬期スクーリング対象

(注) 1月25日(日)実施の秋期・冬期スクーリング単位修得試験(再試験)は、平成26年度秋期・冬期スクーリング参加者で授業最終時に行った単位修得試験が不合格の者のみを対象に行う。

掲 示 板

Ⅶ. 平成26年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について

通信教育のリポートは第4種郵便の適用を受けており、通常（第1種）の郵便よりも到着するまでに日数を要します。また、土日祝日等における郵便配達の都合上、リポート到着が下表の予定日より遅れる場合も多々あります。

その点を考慮した上でリポートを提出するようにしてください。特に、同一科目で第1回目リポートの合格直後に第2回目リポート提出の際、上記のケースにより間に合わない可能性が多分にありますのでご注意ください。

リポート提出締切日(必着) (事務室受付期間)	事務局返送予定日	リポート提出締切日(必着) (事務室受付期間)	事務局返送予定日
H26.12.8(月) (H26.11.26~12.8)	H26.12.16(火)	H27.2.9(月) (H27.1.20~2.9)	H27.2.17(火)
H27.1.6(火) (H26.12.9~H27.1.6)	H27.1.10(土)	H27.3.9(月) (H27.2.10~3.9)	H27.3.16(月)
H27.1.19(月) (H27.1.7~1.19)	H27.1.24(土)	H27.3.31(火) (H27.3.10~3.31)	H27.4.6(月)

※事務局が閉局あるいは職員が不在の時に、リポート提出のつもりでカウンターの上や事務局前などに置いて帰っても当方では受付できません。もしそれに基づくトラブルが生じても、当局では一切責任を負えません。

Ⅷ. 学費の分納（後期生）について

後期生（10月入学）で平成26年度の学費分納者は、2回目の納付期限が平成27年1月31日(土)までとなっていますので、納付期限までに納付してください。

なお、納付金額など不明な点があれば、通信教育部事務室まで問い合わせてください。

掲 示 板

Ⅷ. 事務休日等について

年末・年始等の事務休日は次のとおりです。事務取扱いを行いませんので、注意してください。

1. 平成26年12月27日(土)から平成27年1月5日(月)まで
2. 平成27年1月17日は土曜日ですが、大学入試センター試験実施のため事務の取扱いを行いません。

Ⅸ. オフィスアワーの変更について

11月号「Ⅰ. オフィスアワーについて」のP.82「経営学Ⅱ（池田広男准教授）」の担当曜日を水曜日に変更します。



キャンパス内全面禁煙

掲 示 板

XI. 卒業生だより

平成26年9月25日に卒業された先輩方から、メッセージが届いております。勉学を続ける上でのご参考にしてください。

柚木 聖太郎

「卒業に際しての所感」

私は2011年秋に3年次編入学し、3年間かかりましたが今秋、無事に卒業を迎えることができました。入学当初は、通信教育部での学習は初めての経験だったので戸惑いばかりでした。最初のレポート作成では、縦書き、横書きすら分からず全てやり直しということもありました。通信教育はほとんど独学なので、自分の力で合格しないといけません。不合格になることも何度もありましたが、先生のコメントを理解し、文章構成をしっかりと考えることで乗り越えることができました。

スクーリングでは、先生の声を直接聞くことができ、内容にすぐに入ることができました。個性あふれる先生方ばかりだったので、非常におもしろく、楽しくスクーリングを受けることができました。

最後になりましたが、この機会を与えてくれました両親、お世話になった先生方、事務局の皆様、本当にありがとうございました。

川原 弘樹

「卒業に際しての所感」

私は、鍼灸の専門学校での在学中2年次より通信教育部での学習を始めました。通信教育部を受講した理由は、学士号を取得するということが一番の目的であり、それによって今まで受験資格がなかった資格にもチャレンジして、自身のスキルアップ、そして、今後の選択肢が広がれば良いと思いました。入学してから、卒業に至るまで、一番重要だったと思うのは、計画性をもつこと、そして、モチベーションを保つことでした。日々の生活の忙しさを言い訳にせず、学習時間を確保し計画通りに卒業することが決まった時の喜びは何事にも代え難いものでした。

通信教育部での学習を通し、自分の教養を広げることができ、これからの生活に活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、大阪学院大学の方々、大学での学習をサポートして

掲 示 板

下さった方々に感謝いたします。ありがとうございました。

杉尾 之教

「卒業に際しての所感」

私は別の四年制の大学を辞めてから通信教育部に編入しました。自分のペースで学習して試験を受けて単位を取得していくことができるので、無理なく続けられました。マイペースにしすぎて予定より単位の取得が遅れましたが、無事卒業を迎えられてよかったです。

レポートだけでなく、スクーリングがあったのがよかったと思います。家でレポート課題をこなしているだけではやはり得るものに限りがあります。授業で先生のいろいろな補足説明をきくことでその課題への興味がわいたように思います。そして、授業を受けることによって学校に通って勉強している、自分の意志で勉強している、頑張っ勉強していこうと思いました。

通信教育部で得た知識を、これから先にも生かされるように、学習を続けていきたいと思います。

「これから通信教育部で学習される方へ」

レポートのやり方ですが、私はレポートのやり方自体は理解していたのですんなりやり始めることはできました。もし初めての方がいらっしゃったら、レポートの書き方とかの説明を見るよりも、実際にあるレポートを見て流れを掴んでみたらいいと思います。その後で書き方マニュアルを見て書く方が、私はうまくいくと思います。そして実際に提出してみて、数をこなしていけば段々良いものが書けていけると思います。

面倒くさがりの私はできるだけ教科書でやろうと思い、質問シートは使いませんでした。でもやはり一人でやるには限界があり、よく不合格で返ってきました。そのことで予定していたよりも卒業に時間がかかりました。一人で無理せず、わからないところは質問することが必要だと思います。質問していればもう少し早く卒業できたと思います。

スクーリングがある科目なら先にスクーリングを受けた方がレポートがスムーズに進むと思います。そのためにも授業に出席したときは板書だけでなく、先生の話も気になることはメモすることが大切です。それがレポートに生きてくると思います。

私は編入でしたので、残り50単位からのスタートでした。それを自分のペースを考えて、二年でやろうと計画しましたが、三年かかってしまいまし

掲 示 板

た。みなさんそれぞれのペースがあると思いますが、本当に無理のないペースで続けていくことが大切です。焦ってしても学んだことは頭に入ってこないと思います。そして無理なく進められるのが通信教育だと思います。

これまで書いたものが参考になるかはわかりません。もし参考にしてもらい、力になればうれしく思います。そして学んだことを糧にして、新しいスタートをきって下さい。

西川 黎奈

「卒業に際しての所感」

私は、専門学校で医療の勉強をしながら、通信教育で学士の取得を目指し学び始めました。異なる分野の勉強を同時に進めることは想像以上に大変でしたが、仲間や先生方に助けていただき卒業を迎えることができました。

現在、病院で勤務しておりますが、今後、通信教育部で学んだ知識を生かして、医療経済や経営の分野にも挑戦していきたいと思っております。

本学で学び、卒業を迎えることができたことは大変嬉しく、卒業生であることに誇りをもって今後も勉学に励みたいと思います。

最後になりましたが、卒業までの間、ご指導していただいた先生方、事務局の方々、共に学ぶ仲間、家族の協力のおかげでここまでたどり着くことができました。本当に感謝しております。ありがとうございました。

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信教育での学習は、通学課程で学習するよりも強い意志と計画性を持つ必要があると感じました。1人で学びレポートを提出するということは、自由に時間を調整できるという利点があります。しかし、仕事の合間を勉強に費やさないといけないため、余暇時間は格段に少なくなります。また、たくさん時間を費やし書き上げたりレポートでも、一度では合格とならないこともあります。何度も書き直すことは、精神的にかなり辛いものがあります。そして、一度で合格しなければ卒業までの綿密な計画が崩れ、調整が必要となります。そのため、計画をたてる際は先生や同じ授業をとった仲間へ傾向などを聴取しておき、事前に調整しておくことが卒業への近道だと思います。

しかし、先生や仲間といっても自宅学習が中心であり、通学課程と比較すると接点が少ないという問題があります。そのため、スクーリングなど他の仲間と交流できる機会を大切にし、積極的に意見交換を行うことで相談し合える仲間を作ると良いと思います。通信教育部では仕事をしている方が多く、異なる分野で働く仲間の意見を聞くことで、視野が広がり人としても成長できるのではないかと感じます。

掲 示 板

仕事を続けながら学校に通うことはとても大変ですが、それ以上に得られるものがあり、また、学び続けることや人脈を広げることは今後の人生に大きく影響していくと思います。

これから本学で学習される方は夢や目標を持たれていると思います。それに向かって、諦めず頑張ってください。応援しています。

 掲 示 板

Ⅺ. 行事予定 (12月)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 冬期スクーリング 開始①
7 冬期スクーリング ②	8	9	10	11	12	13 冬期スクーリング ③
14 冬期スクーリング ④	15	16	17	18	19	20 冬期スクーリング ⑤
21 冬期スクーリング 予備日 事務休日	22	23 天皇誕生日 事務休日	24	25	26	27 事務休日
28 事務休日	29 事務休日	30 事務休日	31 事務休日			

掲 示 板

ⅩⅡ. 行事予定 (1月)

日	月	火	水	木	金	土
				1 元旦 事務休日	2 事務休日	3 事務休日
4 事務休日	5 事務休日	6 秋・冬期スクーリング 単位修得再試験 受験申込受付開始 レポート提出締切日 (2月試験対象)	7 →	8 →	9	10
11 事務休日	12 成人の日 事務休日	13	14	15 受験申込受付開始 (2月試験対象) 至1月19日	16	17 事務休日
18 事務休日	19 →	20	21	22	23	24 (通学課程) 入試のため 事務休日
25 秋・冬期スクーリング 単位修得再試験 (本学・学外)	26	27	28	29	30	31 後期生：学費分納者 2回目納付期限 (通学課程) 入試のため 事務休日

XIII. 各種届出書類等

- ① 変更届（1枚）
- ② 証明願（1枚）
- ③ 証明書発行申込書（1枚）
- ④ 学校学生生徒旅客運賃割引証申込書・発行控（2枚）
- ⑤ リポート用紙購入申込書（2枚）
- ⑥ 質問用紙（1枚）
- ⑦ 追加履修届（1枚）

②証明願以外は、通信教育部ホームページよりダウンロードすることが可能です。